

『農業協同組合論(第4版)』追加資料

追加箇所 236頁 JA(農業協同組合)全国大会の主な決議内容

第30回大会	令和6年(2024年)
スローガン	組合員・地域とともに食と農を支える協同の力 ～協同活動と総合事業の好循環～
食料・農業戦略	食料・農業戦略を通じた食料安全保障への貢献 ・食料安全保障への貢献に向けた地域農業の実践 ・次世代の確保や環境との調和を通じた持続可能な農業の実現 ・農業所得の増大と国産農畜産物の安定供給 ・農業の担い手ニーズへの対応強化に向けた営農経済事業体制の整備
くらし・地域活性化戦略	くらし・地域活性化戦略の実践による組合員と地域社会への貢献 ・活動・事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現 (協同活動と総合事業の好循環) ・協同活動の実践による協同組合としての強みの発揮 ・総合事業による組合員の豊かなくらしの実現 ・活動・事業を通じた地域社会の活性化・地域共生社会の実現
組織基盤強化戦略	JAの仲間づくり(関係強化、組合員数の維持・拡大) ・組合員等の現状把握と類型化をふまえた関係強化 ・価値観を共有する仲間づくり(組合員数の維持・拡大) ・女性・青年をはじめとする多様な組合員等の参画促進 ・組合員の学びの場の提供・リーダー育成
経営基盤強化戦略	健全・強固な経営基盤の確立(経営基盤強化) ・持続可能な経営基盤の確立 ・組合員・利用者から信頼される組織・業務運営の実践 ・価値提供に向けた協同組合らしい人づくり ・JAの機能発揮に向けた中央会・連合会による支援
広報戦略	広報戦略を通じた農業・JAグループに対する理解醸成と戦略的な情報発信 ・戦略的な情報発信に向けた広報戦略の確立と着実な実践 ・農業・JAグループに対する理解醸成・行動変容に向けた情報発信 ・組合員・職場向け広報(組織内広報)による組合員・役職員の理解促進
特記事項	「JAグループの存在意義」 協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する JA全国大会が第30回という節目であり、かつ、2025年が国際協同組合年となることから、取り巻く環境やJAへの期待をふまえて整理した。